

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 **新**ぎふ花き活用拡大推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111 (内 2866)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額： 一千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

人口減少や高齢化に伴う市場規模の縮小、生産・流通コストの増加、輸入花きの増加に加え、コロナの感染拡大による需要の減少と花きの経営環境は厳しさを増している。

落ち込んだ需要の拡大を図るため、これからの花き産業の振興には業界の壁を越えた異業種等からのアイデアを積極的に取り入れ、新商品、新サービス等の事業化を図るとともに企業等が自主的に取り組む花飾りに対して支援を行い新たな需要の掘り起しを推進する必要がある。

(2) 事業内容

①コンペ等により提案された花き振興企画の活動支援(花き振興活動支援事業) 【4,000 千円 (コロナ臨時交付金)】

- ・学生・一般・企業等を対象として、花き振興に向けた企画やビジネスプランをコンペ等で募集し、学生等のアイデアを活用した新商品、新サービス開発、需要開拓等に向け優良企画・計画に対する活動に支援

②企業などが実施する花飾りに対する支援 (花き装飾事業)

【1,000 千円 (コロナ臨時交付金)】

- ・企業が事務所や敷地に積極的に行う県産花きを利用したオフィス緑化や花飾りに対して支援

(3) 県負担・補助率の考え方

新たな販路や需要を獲得することは、花き生産振興を図る上で最優先して取り組むべき最も重要な事業である。とりわけ、花き業界以外の異業種からの提案は新たな商品開発や販路開拓、ひいてはビジネスへと広がる可能性があり、生産者の経営を向上させるためには強い支援が必要である。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

(千円)

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	ぎふ花き活用拡大推進事業費補助金
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国の状況

平成26年6月20日、花き産業及び花き文化の振興を図り、もって花き産業の健全な発展及び心豊かな国民生活の実現に寄与するため、「花きの振興に関する法律」が成立した。

(主な内容)

- ・農林水産大臣は、花き産業及び花き文化の振興に関する基本指針を策定
- ・都道府県は、花き産業及び花き文化の振興に関する計画を策定
- ・花き産業に関する施策
- ・花き文化に関する施策

(2) 県の状況

平成26年10月15日、花きの振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって県民の健康で心豊かな生活の確保及び美しい郷土づくりに寄与するを目的に、「岐阜県花きの振興に関する条例」が成立した。

(主な内容)

- ・県は、「基本理念」にのっとり、花きの振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進
- ・花き文化の振興に関する施策
- ・花きの安定供給に関する施策

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	ぎふ花き産業振興事業費補助金
補助事業者（団体）	一般、企業
補助事業の概要	<p>（目的）学生や企業等が提案する県花き産業振興に関する企画・計画をコンペなどを通じて新商品やサービス、販路開拓等の可能性を判断し、商品開発や販売力強化、新規需要開拓に取り組むとともに、企業等の花飾りを積極的の実施できるよう支援を行い、県産花きの需要増大を図る。</p> <p>（内容）</p> <p>（1）新たな花き振興企画・事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般や学生、企業等が提案する花き振興に関する企画、事業計画に基づいて実施する新商品、新サービス、需要開拓等に係る経費を支援 <p>（2）企業等が実施する花き装飾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業等がオフィス等で自ら実施する花飾りに対する経費等を支援
補助率等	<p>定額・定率・その他（例：人件費相当額）</p> <p>（1）新たな花き振興企画・事業に係る経費：定額（上限 1,000 千円）</p> <p>（2）企業等が実施する花き装飾：定率（ 1 / 2 以内 ）</p>
補助効果	県産花きの需要増大や販売力の強化
終期の設定	<p>終期令和 7 年度</p> <p>（理由）花き消費の減退と低迷が依然続き、県花き生産額が年々減少しているため、新たな需要開拓のために異業種等との連携した取り組みが必要。（「清流の国ぎふ花き振興計画（計画期間：R3～R7）」で異業種連携の取組を明記）</p>

（事業目標）

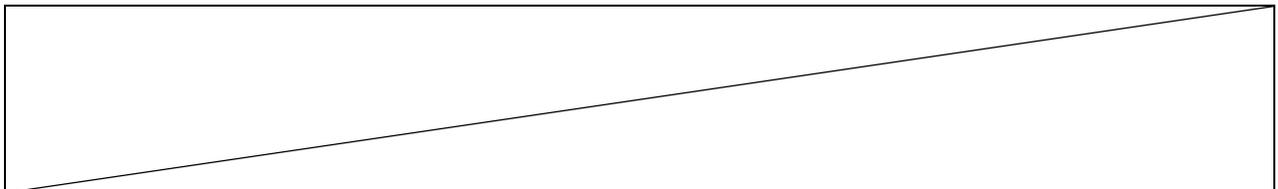
<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>県内の花き生産者の経営の安定を図るため、新たな需要開拓に向けた企業による連携や花飾りを推進し、事業の開発事例や花飾りを実施する企業数を増やす。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2年度末)	目標 (R7年度末)	目標 (終期)
① コンソーシアムによる連携開発事例	0	20事例	20事例 (R7年度)
② 花きを用いた癒しの空間づくりに取組んだ企業数	0	100社	100社 (R7年度)

	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	0	5,000千円
指標① 目標	0事例	4事例
指標① 実績		—
指標① 達成率	%	—
指標② 目標	0社	20社
指標② 実績		—
指標② 達成率	%	—

(前年度の成果)



(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>県花き振興に向けた企画・事業計画について、花きという分野が限定的であり、どのように周知し、関心を高めて提案させるか。</p> <p>花きの装飾については、花と緑の効果効用について周知し、オフィス緑化等を推進しやすい状況に誘導する必要がある。</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)</p> <p>○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い</p>
<p>(評価) ○</p> <p>花き需要の減退、単価の低迷が続いており、新たな需要や販路を確保することが必要である。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <ul style="list-style-type: none"> ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
（評価）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <ul style="list-style-type: none"> ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
（評価）	

（事業の見直し検討）

--	--

（終期到来時の翌年度以降の事業方針）

	<p>継続 ・ 削減 ・ 統合 ・ 廃止</p> <p>（理由）</p>
--	--------------------------------------